

様式（評価機構フォーマット版）

# 2020 年度 自己評価報告書

（専門学校等評価基準 Ver.4.0 準拠版）

評価対象期間 自：2020年4月1日  
至：2021年3月31日

評価基準日 2021年3月1日

学校法人イーエスピー学園  
専門学校ESPエンタテインメント東京

# 目 次

教育目標と本年度の重点目標の評価.....	1	基準5 学生支援.....	22
基準1 教育理念・目的・育成人材像.....	2	5-16 就職等進路.....	23
1-1 理念・目的・育成人材像.....	3	5-17 中途退学への対応.....	24
基準2 学校運営.....	4	5-18 学生相談.....	25
2-2 運営方針.....	5	5-19 学生生活.....	26
2-3 事業計画.....	6	5-20 保護者との連携.....	28
2-4 運営組織.....	7	5-21 卒業生・社会人.....	29
2-5 人事・給与制度.....	8	基準6 教育環境.....	30
2-6 意思決定システム.....	9	6-22 施設・設備等.....	31
2-7 情報システム.....	10	6-23 学外実習、インターンシップ等.....	32
基準3 教育活動.....	11	6-24 防災・安全管理.....	33
3-8 目標の設定.....	12	基準7 学生の募集と受入れ.....	34
3-9 教育方法・評価等.....	13	7-25 学生募集活動は、適正に行われているか.....	35
3-10 成績評価・単位認定等.....	15	7-26 入学選考.....	36
3-11 資格・免許の取得の指導体制.....	16	7-27 学納金.....	37
3-12 教員・教員組織.....	17	基準8 財務.....	38
基準4 学修成果.....	18	8-28 財務基盤.....	39
4-13 就職率.....	19	8-29 予算・収支計画.....	40
4-14 資格・免許の取得率.....	20	8-30 監査.....	41
4-15 卒業生の社会的評価.....	21	8-31 財務情報の公開.....	42

<b>基準 9 法令等の遵守</b> .....	<b>43</b>
9-32 関係法令、設置基準等の遵守.....	44
9-33 個人情報保護.....	45
9-34 学校評価.....	46
9-35 教育情報の公開.....	47
<b>基準 10 社会貢献・地域貢献</b> .....	<b>48</b>
10-36 社会貢献・地域貢献.....	49
10-37 ボランティア活動.....	50

## 教育目標と本年度の重点目標の評価

学校の教育理念・目標	2020 年度重点目標	重点目標・計画の達成状況	課題と解決方策
<p><b>【建学の精神】</b> 音楽・楽器を創造することを通じて豊かな人格を形成し、さらに自己の可能性を追求する人材の育成。</p> <p><b>【教育の理念】</b> 建学の精神に基づき、エンタテインメントおよび楽器に関する高度かつ最新の知識や技術を修得し、感動を創造できる人材の育成に力を注ぐ。</p> <p><b>【教育目的】</b> 当学園は、学校教育法及び本学園の教育理念に基づき、エンタテインメントに関する知識や技術を授け、人格の涵養のもと、個性と可能性を大きく伸ばした人材を育成することを以って、文化の向上と社会の発展に貢献することを目的とする。</p>	<p>・ 職業実践専門課程への申請準備。</p> <p>上記申請・認可によるカリキュラムの適正化、教員の質の向上、および実践的な授業の充実。</p> <p>業界のニーズを的確に捉えた教育の質の向上と、学校のブランディングを図る。</p>	<p>評価日現在まで体制整備を行い、教育課程編成委員会を組織した。</p> <p>しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大によって委員が参集しての委員会の実施が困難であり、職業実践専門課程申請要件である対面形式での委員会実施は行わず、メール等のやり取りのみでの実施であったため、2022 年度の申請は見合わせる事となった。</p> <p>また、一部方針変更があり、本校において必ずしも職業実践専門課程申請は必須ではないとの認識の元、当面の間職業実践専門課程申請は行わないこととなった。</p> <p>しかし、組織した教育課程編成委員会は現状のまま継続して来年度以降も実施していくことにより、外部の意見を聞く貴重な機会として活用していくこととなった。</p>	<p>現状では、各学科（現場）で職業実践専門課程申請が必要と判断してから申請を行う事となった。</p> <p>また、一通りの体制整備は完了しているため、今後申請を行うことになり次第、適宜対応していくこととなる。</p>

最終更新日付	2021 年 3 月 1 日	記載責任者	野永 幸恵
--------	----------------	-------	-------

## 基準 1 教育理念・目的・育成人材像

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>エンタテインメント業界の仕事は細分化が進んでおり、業界のニーズとしてその分野のスペシャリストであり、かつ現場での対応力をもった一定水準のジェネラリストでもある人材が求められている。そんな音楽業界からのニーズに対応するために、即戦力となりうる人材の輩出、及び業界をリードできる人材の育成に力を注いでいる。</p> <p>また画一的な人材輩出とならないよう、学生の希望に沿い、かつ個性を活かすために選択授業をカリキュラムに備えている。</p> <p>入学適齢人口は年々減少し、同系学校間に関わらず大学とも競合する時代となっていることから、今後は学生確保の意味からも時代に即応したカリキュラムや、新しい学習システムの導入などに努めることが大切と考えている。</p>	<p><b>【教育の理念】</b> 建学の精神に基づき、エンタテインメントに関する高度かつ最新の知識や技術を修得し、感動を創造できる人材の育成に力を注ぐ。</p> <p><b>【目的】</b> 当学園は、学校教育法及び本学園の教育理念に基づき、エンタテインメントに関する知識や技術を授け、人格の涵養のもと、個性と可能性を大きく伸ばした人材を育成することを以って、文化の向上と社会の発展に貢献することを目的とする。</p> <p><b>【育成人材像】</b> 感動を創造できる人材を育成する。それは以下のような人材像である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 好奇心を持ち続け、常に課題（テーマ）を見つけ、解決することができる人材</li> <li>2. 初心を忘れず、常に目標（夢）を持ち、達成し続ける人材。</li> <li>3. コミュニケーションをとり、仲間と仕事をやり遂げることができる人材。</li> </ol>

最終更新日付	2021年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

## 1-1 理念・目的・育成人材像

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	建学の精神に則った教育理念・目的・育成人材像は定められており、エンタテインメント業界の発展に寄与できるものとする。	教育理念に基づく育成人材像を定め、明確化を行ったが、周知が不十分である。 また、学則の目的変更を行い、現状に適したものとした。	理念・目的・育成人材像等の明確化までは完了しており、今後は周知徹底して教育活動を行っていく。	学校ホームページ 学則
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	業界のニーズを母体である世界的楽器メーカー(株)ESP、キャリアサポートセクション、講師からの情報、及び教育課程編成委員会による外部の意見と照らし合わせを行っている。	当校の講師は現役の業界人で構成されており、授業計画もその講師の意見も反映して作成されている。また教育課程編成委員会による外部の意見を取り入れていることから、適合していると判断する。	課題は特になし。	
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	エンタテインメント業界への人材輩出を使命とする当校は学科・コース全体がエンタテインメント業界の縮図でもある。	エンタテインメント業界におけるニーズに対応するため、4学科 33 コースを用意しており、選択授業によって個々の希望に対応。	楽器技術科が大きくまとまり過ぎて進学希望者への訴求力が低い現状から、2021年度よりギタークラフト科、管楽器リペア科、ピアノ調律科の3学科に再編する。	学校ホームページ 学校パンフレット
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	エンタテインメント業界のニーズを把握した上で、中・長期計画を策定すべきである。	中・長期計画にて規定している。	中・長期計画の教職員、学生、保護者等への周知は行っておらず、今後行うべきと考える。	中・長期計画

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
大項目総括に同じ。	大項目総括に同じ。

## 基準 2 学校運営

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校教育法、専修学校設置基準、各種法令、及び本学園の運営方針に基づいて運営されている。</p> <p>また、一昨年より各種規程の整備等行っており、今後も継続して整備を行っていく。</p> <p>今年度は新型コロナウイルス感染症拡大、及び年度初めの緊急事態宣言による学校閉鎖があり、各イベントや海外研修が中止や延期となり、一部オンライン授業の導入や演習の中止等、カリキュラム変更を余儀なくされる事態となった。</p> <p>尚、授業再開後、パーテーションの設置や学科・コースイベントのオンライン実施等、感染対策を確りと行うことで、本校におけるクラスター発生はなく、感染症対策は確りとされていたものと認識している。</p>	<p>世界的ギター製作メーカー(株)ESPが設立母体であり、ギター製作の職人がもっと必要となったため、1983年にギタークラフトマン、リペアマン養成を目的とする日本ギター製作学院を設立し、現在の学校法人イーエスピー学園へつながっている。</p> <p>現在ではエンタテインメント業界のニーズにより楽器製作のみならず、演奏、運営スタッフ等の人材育成にも幅を広げており、本学は学校法人イーエスピー学園の本校としてエンタテインメント業界の縮図を内包している。</p> <p>また、ESPグループの学校だからこそ業界との距離が近く、講師も業界の一線で活躍するプロであり、演習もSUMMER SONIC や FUJI ROCK を代表とする大型ライブフェスや、学校法人イーエスピー学園が主催するライブイベント等現場を体験、及び学生の内から企画・制作・出演に携わることが出来る。</p> <p>さらに、姉妹校としてアメリカ・ハリウッドにある音楽学校 MI (Musicians Institute)、EI (Elegance International) があり、本校在学中に1週間の海外研修を受けることが可能。</p> <p>ROCK、エンタテインメントの本場であるハリウッドを体感できる貴重な機会を提供。</p>

最終更新日付	2021年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

## 2-2 運営方針

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	<p><b>【運営方針】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育の理念に基づき、講師、設備、カリキュラム等、教育環境の充実を図る。</li> <li>・学生との緊密な関係を築いていくために最大限の支援体制を構築する。</li> </ul>	左記の通り運営方針を定めており、来年度のHPにて公表することで内外に対して周知していく。	<p>評価日現在では特に内外に対して周知されていない。</p> <p>今後、HPに公表していくことによって周知していく。</p>	中・長期計画

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
運営方針の明確化は行われており、今後HPで公表することによって全体へ周知徹底していく。	エンタテインメント業界との繋がりを最大限に活かし、業界の第一線で活躍するプロであり、人格・教授力にも優れた人を講師として採用している。また、機材をはじめとした設備・備品等は業界でも現行で使用されているものや、最新のものまで整備し、将来学生がどの環境に行っても活躍できるよう努めている。

最終更新日付	2021年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

## 2-3 事業計画

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	理事会において中・長期計画、及び単年度事業計画を検討、承認し、日々の業務へ落とし込む。	前年度の事業報告書からの反省点、改善点を検討し、中・長期計画、及び単年度事業計画を策定する。 そこで定めた目標を達成すべく日々の業務を行っている。	新規の計画等、想定外の事案がある場合には、予備費からの支出とし、実行可能な人材を調整し実施している。 定期的に進捗確認、見直しを行うよう図るべきと考える。	中・長期計画 単年度事業計画

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
評議員会、理事会において前年度の事業報告、及び本年度の事業計画の検討、承認を得て事業を適正に進めている。	特になし。

最終更新日付	2021年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

## 2-4 運営組織

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	私立学校法等及び寄附行為に定めるところにより、理事会、評議員会を適切に運営する。	寄附行為で定めるところにより、理事会、評議会を開催、審議を行っており、議事録も作成、格納されている。	課題は特になし。	寄附行為、評議会議事録、理事会議事録
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	学校教育法、及び私立学校法に基づいて学校運営のための組織を整備する。	組織の設置は組織図等で整備・整理されている。 評議会、理事会での決議後に各学校長、学科責任者、事務局長等によって各学科教員、及び事務職員に周知が図られる。	課題は特になし。	組織図、業務分掌規程、各種規程・マニュアル

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
組織運営については各種規程等整備されており、寄附行為に基づき適切に運営されている。	各科責任者、及び各部署責任者から部長への上申、フィードバックが容易な体制であり、案件によっては理事長への伝達も即時行われる。現場の意見、業界のニーズの運営への反映がスピーディーに行われている。

最終更新日付	2021年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

## 2-5 人事・給与制度

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	就業規則等によって明確化されており、適切に運用されている。	<p>人事部による選考、採用マニュアルによって運用されている。</p> <p>採用基準についても筆記試験による教養評価、2回の面接による人物評価によって教職員に相応しいと判断された者を採用している。</p> <p>尚、採用後、職員は試用期間を設け、その中で各種業務に携わることで適性を見て、配属先を適宜判断している。</p> <p>また、賃金規程によって給与決定を明示しており、上長によるヒアリングを行うことで職員の意向も確認している。</p>	課題は特になし。	就業規則

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
人事・給与制度は就業規則等によって明示されており、採用に関してもマニュアル化しているため、適切に運用されている。 年に数回、上長によるヒアリングが行われ、本人の意向を伝える体制を執っている。	特になし。

最終更新日付	2021年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

## 2-6 意思決定システム

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	組織図に基づき、各会議、及び教職員によって構成される委員会によって意思決定され、その決議を最終的に評議会、理事会によって承認される体制となっており、整備されていると考える。	財務等においては学園会議、教務等においては教務会によって調査依頼書、上申書を提出し、妥当か否かを各部長が審議し、理事長の決裁を仰いでいる。 それぞれの会議には各学科責任者及び各所属長、教務会には学科責任者、及び各学科コース主任が出席する。	今年に関しては、新型コロナウイルス感染症への対応として、会議は原則行わず、学科責任者によって上申等を各部長へ提出し、審議後に理事長の決裁を仰いでいる。 都度個別に話し合いはされているが、全体への情報共有については課題が残っており、今後の検討を要する。	組織規程 組織図 業務分掌規程

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学園事業と学校事業、教務的事業等、意思決定はそれぞれにおいて行われるが、最終決定は理事長の承認を以ってされる。 それによって、理事会の関知しないところで事業が進むという弊害を防止されている。	特になし。

最終更新日付	2021年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

## 2-7 情報システム

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-7-1 情報システム化 に取組み、業務の効率 化を図っているか	情報の流出等には十分に備え た上で各業務に必要な情報の 電子化等を行い、業務の効率化 を図るべきと考えている。	学生に関する情報管理及び 関連事務作業を同一のシステ ムを使用することによって効 率化が図られている。 学科の教員、及び教務職員に も同様のシステムによる管理 がされ、最新情報が随時閲覧可 能であり、学生指導において活 用されている。 また、上記システムは通常の インターネットからは隔離し て構築されている等、セキュリ ティー面については常時管理 している。 なお、卒業生データも全て電 子化し、同システムに統合され ている。	現在使用している学籍管理 システムのサーバー保守が終 了する為、来年度からクラウド 版にしなければならない。 新しい学籍管理システム導 入時には情報管理システム運 用規程を見直すこととする。	情報管理システム運用規程 個人情報取扱規定 G P A制度運用ガイドライン

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
情報システム化については個人情報の保護を常に念頭に置き、業務の効率化 のために整備を進めている。	独自のネットワークを構築しており、外部からのアクセス等についてのリス クは非常に低いと考える。 また、U S Bメモリ等の差し込みも、学内専用のもの以外は禁止を徹底して いる。

最終更新日付

2021年3月1日

記載責任者

野永 幸恵

## 基準 3 教育活動

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校の目的でもある「個性と可能性を大きく伸ばした人材」の育成は、個性については選択科目によって本人の志向に沿う形で対応し、可能性については身に付ける知識や技術で将来の選択肢を広げることによって対応している。</p> <p>そのためには常に業界との密接な関係を維持しつつ、業界のニーズを教育に反映することが必要と考え、毎年教育課程編成については外部の業界人に依頼してご意見をいただく事で見直しを行っている。</p> <p>尚、本校のキャリアサポートセクションにおける求人情報や、企業の採用担当者の方からのヒアリング等によってもニーズの把握を行っている。</p> <p>また、本校のライブ研修は有名フェスを演習の現場としており、音楽芸能スタッフ科のみならず、音楽アーティスト科もESPステージによる出演をしており、実習・演習が非常に充実していると自負している。</p> <p>しかし、その分講義の時間が制限され、当校では単位制ではなく時間制によってカリキュラムが組まれているが、授業時間を単位換算する際、各科間に差が生じてしまっている。</p>	<p>様々なイベント（SUMMER SONIC や FUJI ROCK を代表とする大型ライブフェス）に学生の内から参加し、業界の現場を体験することで、卒業後に現場に入ってもスムーズに業務が行える力を身に着ける。</p> <p>また、業界との緊密な連携によって当該イベントに当校独自のステージ枠をいただいております、スタッフとしてだけでなく、アーティストとしての経験を積むことが可能となっている。</p> <p>さらに、エンタテインメント業界におけるニーズに対応出来る人材育成となるよう、各科目担当教員による絶対評価を採用しており、これによって業界の第一人者による客観的な評価によって能力が分かるようになっている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、大規模なイベント関係は全て中止となった。また、今年度は可能な授業はオンラインで行っており、来年度も同様である見込みである為、授業効果を検討した上で、一部オンライン授業を行っていく。</p> <p>対面でなければならない授業については、引き続き感染症対策を徹底した上で行っていく。</p>

最終更新日付	2021年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

## 3-8 目標の設定

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	理念に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めている。	エンタテインメント業界の最新技術を学ぶ為に、業界の第一線で活躍している講師からのフィードバックを得て、カリキュラムを編成している。 また、実施にあたっては教育の質の水准确保のため、少人数制で教育を行っている。	方針については評議員会、理事会で承認されており、今後教職員全体に周知していく。	学校ホームページ 学校パンフレット 教育課程編成委員会規程
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	学科、コース毎の就業年限に応じ、教育到達レベルを設定している。	エンタテインメント業界における即戦力の輩出を目的の一つとしている以上、各分野における最低限必要とされるスキルは習得していなければならない、試験結果や日頃の授業内の評価において判断されている。	基本的にはそれぞれの科目において課題や試験を設け、その達成率や完成度によって評価している。 また、学科によっては独自のレベル検定制度を導入しており、教育到達レベルを一目で確認できる。	シラバス

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育課程編成委員会規程の中で教育課程編成の基本方針を明確にしている。 また、キャリアサポートセクションによる求人情報や、企業の人事担当者からのヒアリング等も行っており、業界のニーズについては多角的に情報収集している。	学科によっては独自のレベル検定制度を導入しており、客観的に教育到達レベルを確認できる。 また、その他の学科も別途課題、試験等で教育到達レベルを教師が確認し、評価している。

最終更新日付	2021年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

## 3-9 教育方法・評価等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	エンタテインメント業界のニーズに合わせてつつ、学生の個性・希望に沿った編成とする。	<p>教育課程編成委員会の他、様々な情報を集約し、各学科内でカリキュラムが決定されており、それによってシラバスが作成されている。</p> <p>今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、可能な限りオンライン授業を行っている。</p>	<p>教育課程編成委員会からのご意見や各情報を学科内(教務会)で検討し、決定しているが、カリキュラム決定時の学科内会議での議事録を取っていない。</p> <p>来年度からは議事録を取り、適宜保管する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響が来年度にも続くことが見込まれるため、来年度も引き続き、授業効果を検討した上でオンライン授業を行っていく。</p>	教育課程編成委員会規程
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	外部の意見を取り入れていくことは、業界のニーズに合わせていく関係上不可欠であると考える。	E S Pグループの全体会議や主任講師が参加する教務会、教育課程編成委員会によって外部の意見を聞く機会を設けている。	<p>今年度は左記グループ会議については新型コロナウイルス感染症拡大の影響で行っていないが、個別に意見を聞くことで対応した。</p> <p>現段階では来年度もグループ会議の開催は未定のため、開催されない場合には個別に意見を聞く機会を設ける。</p>	学校関係者評価委員会規程 教育課程編成委員会規程

3-9-3 キャリア教育を実施しているか	専門学校として学生のキャリア発達における最も重要な役割を担うべく、体制に万全を期すべきと考える。	キャリアサポートセクションを設置しており、学生の就職へのサポート体制を構築している。 また、様々なサポートプログラムを設けており、キャリア教育の充実を図っている。	特に課題はなし。	学校ホームページ パンフレット
3-9-4 授業評価を実施しているか	授業評価を実施すべきと考えている。	今年度卒業生に対するアンケートや主任講師、学科責任者によって評価を行っており、その結果を各講師へ伝え、授業の更なる質の向上を図っている。	当該年度卒業生に対する学生アンケートを今年度も実施予定。	アンケートデータ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育課程編成については方針と共に教育課程編成委員会規程の中で定め、実施されている。</p> <p>また、教育課程編成にあたって、各学科における教育の目的、方針を明確化することで、現状の教育課程を見直し、更なる教育の質の向上を図っている。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、今年度は可能な授業はオンラインで行っており、来年度も同様の見込みである為、授業効果を検討した上で、一部オンライン授業を行っていく。</p> <p>対面でなければならない授業については、引き続き感染症対策を徹底した上で行っていく。</p>

最終更新日付	2021年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

## 3-10 成績評価・単位認定等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	成績評価・終了認定基準、双方明確化するべきと考えている。	学則等への規定は行われていないが、GPA 制度の導入を行い、成績評価基準を明確化し、客観的な指標の算出方法をHP等で公表している。	成績評価について、今年度から GPA 制度を導入し、運用している。 2019 年度以前入学者については混乱を避ける為、従来通りの評価基準を用いている。 2019 年度以前入学者が卒業したら、GPA 制度に統一される。	学則 客観的な指標の算出方法 G P A制度運用ガイドライン
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	キャリア発達にも直結する事案であり、また、成績評価にも反映されるため、成果の把握は確実に行われるべきと考えている。	年度末における学内のコンテスト、当学園主催のイベント出演、及び外部オーディションの状況等は常に情報収集を行い、把握に努めている。	課題は特になし。	学校パンフレット

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
GPA 制度を 2020 年 4 月から導入しており、2019 年度以前の入学者の混乱を避ける為、今年度と来年度は GPA 制度と従来の評価方法との併用で運用している。	2019 年度以前の成績評価は A=85 点以上、B=70 点以上、C=60 点以上、D=60 点未満、E=履修放棄（A～C が合格、D、E を不合格）としている。 2020 年度以降の成績評価は S=90 点以上、A=80 点以上、B=70 点以上、C=60 点以上、D=60 点未満、E=履修放棄（S～C が合格、D、E を不合格）としている。 全科目が必修、または選択必修であるため、不合格科目が一つでもあると進級判定、又は修了認定が不可となる。

最終更新日付	2021 年 3 月 1 日	記載責任者	野永 幸恵
--------	----------------	-------	-------

## 3-11 資格・免許の取得の指導体制

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	あくまで目標とするのみであり、教育課程上の必須項目とする予定はない。	取得可能な資格として各学科の授業によって各資格を明示しているが、資格取得が卒業要件として明確に位置付けてはいない。 しかし、現場で必須とされている資格、講習は実習・演習に参加する上で不可欠であり、全員取得している。	資格取得をカリキュラムに盛り込むことも検討されたが、それでは教育目的である個性の伸長に支障をきたす可能性がある為、今後も目標とするのみである。	学校パンフレット
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	学生の自主性に任せるが、指導体制としては整備しなければならないと考える。	各学科、コースの説明（ガイダンス等）にて授業を通じて取得可能な資格を説明し、授業内容+αとして自主学習を奨励している。 しかし、一部学科では資格取得に向けたプログラムが組まれているカリキュラムがある。	既存の授業時間内での資格取得のためのカリキュラムを組むことは困難であり、あくまで学生自身の自主性に任せる。 また、左記の一部学科についても、資格取得が卒業要件ではなく、卒業後の資格取得に向けた学習を奨励している。	学校パンフレット

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
必須、または進級・卒業要件ではなく、現場に必須な資格・免許として取得を奨励しているが、教育課程（カリキュラム）上での明示はしておらず、あくまで授業内での指導に留まっている。	一部実習等への参加に必須の資格・免許等があり、授業内で取得するものもある。

最終更新日付	2021年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

## 3-12 教員・教員組織

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	教職員選考・採用規程の中で教員の採用に関しては定められており、規程に従って、業界の第一線で活躍しており、教授力のある者を教員（講師）として採用する。	左記条件に該当する者を面接等所定の審査を行い、その後学校教育法上の欠格事由、並びに東京都暴力団排除条例等（反社排除）に定義される規制対象者に該当しないことを確認している	誇張された経歴で教員として応募されるケースもあり、採用基準については都度検討している。	教職員選考・採用規程
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	専門学校として教員の資質の把握、及び向上は常に行われるべきと考えている。	当該年度卒業生へのアンケート、及び授業評価によるフィードバックによって実施されている。	当該年度卒業生へのアンケートは今年度実施しており、主に不満点をヒアリングする形式となっているため、それを解消していくことで資質向上を行っている。	アンケートデータ
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	教員の組織体制は都度見直しを行い、整備している。	学科責任者には職員を配置し、当該職員が中心となり、講師などの教員を取りまとめる体制となっている。 年度開始前に講師会を開催し、適宜必要に応じて会議を行っている。	業務分担、責任体制は業務分掌規程によって明確にされている。 学科によって管理体制に違いがある為、現在教員体制について見直しを検討中。	業務分掌規程

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教員の確保は継続的に行われており、現状では特に支障はない。 特に卒業生へのアンケートは教員に対する評価として極めて重要であり、結果を十分に精査する予定である。	特になし。

最終更新日付	2021年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

## 基準 4 学修成果

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>当校は、アーティスト（演者）を目指す学生の割合が多いため、卒業後の就職を考えていない、または就職活動を行わない学生が一定数おり、またアーティストとして活動を開始しても個人事業主となるため、学校全体の就職率という面では測り難い。</p> <p>しかし、就職を希望して就職活動を行っている学生へのサポート体制はキャリアサポートセクションを中心に十分に整備されており、今後も現状の方針を継続していく予定である。</p> <p>また、当学園は業界との緊密な関係を維持していること、及び卒業生も継続して当学園の各種サービスを受けることが可能なことから、卒業後も関わりを継続することが多く、卒業生との関わりも当学園の重要な運営方針でもある。</p>	<p>左記の通り、アーティスト（演者）を目指す学生がおり、学校全体としての就職率という数字ではどうしても良い数値にならない。</p> <p>しかし、各オーディション情報は最新の情報を手に入れることができ、エンタテインメント業界関係者を招いた学内コンテスト等、本学独自のプレゼンテーションの機会、及び一般には公表されない求人情報等、エンタテインメント業界と密接な関係を維持してきた本学園の強みがある。</p>

最終更新日付	2021年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

## 4-13 就職率

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-13-1 就職率の向上が図られているか	エンタテインメントの専門学校であり、特にアーティスト(演者)を目指している学生は就職活動自体をしない傾向である。 就職希望者へのサポートを万全にすべく体制の整備を行っている。	キャリアサポートセクションという学生就職用の部署を設置し、学生の就職サポートを行っている。 また、就職ガイダンスを1年生から行っており、就職を希望する場合のサポート体制は整備されている。	今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、エンタテインメント業界全体で事業縮小傾向であり、求人数も例年と比較して半数近くまで減少している。(求人数 3,498→1,888、求人件数 636→331)	学校ホームページ 学校パンフレット

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
上記の通り、学校全体で見る就職率という点では、就職活動自体を行わない学生も一定数おり、一定の割合以上にはならない。 しかし、就職を希望し就職活動を行っている学生への体制は整備されており、当校で独自に集計している「キャリアサポートセクションを活用している学生の就職率」は満足できる数値である。	2019年度 卒業者に占める就職者の割合 全体 41.3%、就職希望者 67.2%、一社以上応募履歴有 88.4% (書類上は就職希望としていても、実際に就職活動を行っていないことも多い為、上記3パターンで計測)

最終更新日付	2021年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

## 4-14 資格・免許の取得率

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	<p>エンタテインメント業界で働く上で必須である資格については授業内での案内の上、各自の取得を奨励している。</p> <p>また、カリキュラム内、及び実習において必須の資格もあり、それらは授業内に取得出来る体制を採っている。</p> <p>運転免許は夏休み期間が短い為、合宿を案内。</p>	<p>エンタテインメント業界において資格の有無によって就職に大きな影響があることは少なく、現場での対応力が問われる。</p> <p>従って、資格取得のための授業を補完する学習支援はエンタテインメント業界からのニーズにも合っておらず、行っていない。</p> <p>但し、カリキュラム内、及び実習において必須な資格は授業内で取得可能となっている。</p>	<p>取得可能な資格の内、取得の難易度が高いもの（例：ピアノ調律技能士検定）もあり、授業内容で取得が可能ないように、教育過程の編成、講師の採用等教育環境の充実を図る。</p>	<p>学校ホームページ 学校パンフレット</p>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>基本的に資格等は全て個人の裁量によるが、カリキュラム内、及び実習において必須な資格については授業内で取得可能となっている。</p> <p>それ以外については申し込み等の手続代行や、質問があれば回答・教授するが、基本的には自己裁量となっている。</p>	<p>取得可能な資格</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアノ調律技能検定</li> <li>・コルグ消音ピアノ</li> <li>・ユニット取付技術認定資格</li> <li>・AVID PT101 Pro Tools 基礎 I</li> <li>・AVID PT110 Pro Tools 基礎 II</li> <li>・JAPRS サウンドレコーディング技術認定試験</li> <li>・JAPRS Pro Tools 技術認定試験</li> <li>・JPPA 映像音響処理技術者資格認定試験</li> <li>・秘書検定 3級</li> <li>・JALED 舞台・テレビジョン照明技術者技能検定 2級</li> <li>・ビジネス著作権検定 初級</li> <li>・色彩検定 3級</li> <li>・足場の組立等作業従事者特別教育 等</li> </ul>

最終更新日付	2021年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

## 4-15 卒業生の社会的評価

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	卒業生との関係は当校にとって必要不可欠、且つ重要なものであると認識している。	キャリアサポートセクション、デビューサポートセクションによって卒業生のその後も把握されている。 また卒業後、一部業界就職者へ訪問し、実態調査を行っている。	課題は特になし。	学校ホームページ 学校パンフレット

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生との関わりを良好な状態で維持していくのは当学園の方針でもある。その中で一定の成果を上げて、所謂凱旋する卒業生もあり、今後もこの方針を維持していく。	学園祭において卒業生を対象にした「HOME COMING DAY」を開催しており、毎年相当人数が来校している。 但し、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で学園祭が中止となった。来年度については状況から適宜実施するか検討する。 また、卒業後にもキャリアサポート、デビューサポートセクションの利用が可能であり、卒業生に対するサポートも継続的に行っている。

最終更新日付	2021年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

## 基準5 学生支援

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校として法令に定められている各種規程は定められており、また通常学校が整備すべき各種支援体制も整っている。</p> <p>留学生の在留資格変更等も支援しており、実績として留学生の日本国内への就職も数多くある。</p> <p>Google のサービスである G-Suite（アカデミック版）から本校学生の専用メールアドレスを取得し、各学生が使用可能な体制を執っている。</p> <p>これにより、個別に連絡が必要な学生への連絡や、学生全員への一斉のお知らせ等を学内掲示板以外でも行っている。</p> <p>経済面での支援も各種奨学金の案内や、経済的に困窮している学生への学費納入についての個別対応等、他校と比較しても遜色のない体制である。</p> <p>また、修学支援新制度の対象校となり、2021 年度から利用可能となる為、業務の複雑化が予想されるため、担当者の増員等体制整備を行った。</p>	<p>総合エンタテインメントの専門学校である当校において、デビューやそれに関連する活動に対する支援が手厚いものである。</p> <p>また、エンタテインメント業界への就職情報も、一般に公表されていない独自の情報が多数ある。</p> <p>また、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、学生支援緊急給付金（学生に対する 10 万円または 20 万円の給付）があり、対象者への周知、及び申請者の対応を行った。</p>

最終更新日付

2021 年 3 月 1 日

記載責任者

野永 幸恵

## 5-16 就職等進路

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	当校の学生が目指すのはデビューやエンタテインメント業界への就職であり、それぞれに専用部署を整備している。 今後も現状の体制を維持していく方針である。	学生支援課の内、デビューサポートセクション、キャリアサポートセクションがあり、それぞれデビュー、就職に関してサポート体制を構築している。	特になし。	組織図 業務分掌規程 学校ホームページ 学校パンフレット

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
上記の通り、デビューサポートセクション、キャリアサポートセクションを設けて支援体制を整備している。 もちろん、全員が希望するままの就職先ではないが、ある程度希望に沿った進路を選んでいると考える。	デビューサポートセクション、キャリアサポートセクション共に卒業後も利用することが可能であり、在学中に希望する進路に就けなかった場合でも、卒業後に希望通りの進路となるケースも多々ある。 また、進路変更によって就職する場合のサポート体制も整備されている。

最終更新日付	2021年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

## 5-17 中途退学への対応

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-17-1 退学率の低減が図られているか	金銭面・精神面等、様々な事情による退学であるため、一概に退学率の低減を是とするのも難しい。 しかし、個別に事情をよくヒアリングし、状況に応じて最大限協力する体制をとる。	退学手続の際、必ず学科の教職員と話し合いの後に退学手続に移行する体制になっており、また手続の際、理由を記載してもらい、要因・傾向の把握に努めている。 また、前述の学生管理システムにより退学者数の把握は随時行われている。	コロナ禍に対する学生へのケアを確りと行っていくことで不安解消を図りたいが、エンタテインメント業界全体として、3つの密を回避することが難しい業種である為、中々不安解消に至ることが難しい。 今後も全世界的にコロナウイルス感染症と付き合っていかなければならないことが予想されるため、業態の変化に対応したカリキュラムの構築をしなければならない。	退学者データ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
中途退学は、上記の通り様々な事情によって発生するので、一概に低減を是とすることはできないが、出席率の低下、理解度の不足による進級・卒業不可については、日頃から講師によつての連絡、友人等を経由して出席を促す等対処は行っている。 近年ではクラブ活動も奨励し（クラブには必ず教職員の顧問が必要）、学生—教職員間、及び学生同士のコミュニケーションの向上を図る等試行錯誤しながら進めている。	今年度については、年度初めの緊急事態宣言による休校や、コロナウイルス感染症拡大の影響による実習の制限など、学生が入学当初想定していた学生生活が出来ない事、及びエンタテインメント業界全体として自粛やリスク回避による事業縮小によって、エンタテインメント業界への進路に関して懸念を示す例があった。 また、上記理由による休学については当該年度の休学費免除等の対応を行い、通学、修学に不安を抱える学生には休学を促した。

最終更新日付	2021年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

## 5-18 学生相談

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	学校関係者には聞かれたくない、知られたくないという相談もあることを想定し、カウンセラーが複数所属している NPO へ委託している。	基本的に学校関連での相談がある場合には個別対応をしており、特に学内における選任職員は配置していない。 個人的な相談内容の場合、専任のカウンセラーへ業務委託しており、毎週木曜日に相談室を開催しており、掲示板等で案内している。	気軽な相談というものであり、相談内容を記録するという契約にはなっていない。 今年度に相談についての内容記録、報告を行っていただけの相談先について検討する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大への対応を優先していたため、来年度改めて検討する。	学校配布学生専用メールアドレス 学内掲示板相談室案内
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	専任の部署を設置し、その部署での一括管理を行う。	ICC (インターナショナルコミュニティセンター) という部署を設置し、留学生に対するサポート全般を遂行している。	留学生の就職に際して、在留資格の変更が困難である場合がある。 在留資格取得基準の緩和が必要である。	組織図 業務分掌規程

中項目総括	特記事項 (特徴・特色・特殊な事情等)
相談体制としては専任のカウンセラーへ委託して学校関係者には聞かれたくない、知られたくないという相談にも対応できる体制にしているが、基本的に学校、授業に関係した相談事が殆どであり、都度個別対応している。 また、クラブ活動も奨励しており、学生間、または学生-教職員間のコミュニケーションの一助になり、より学生との緊密な関係を構築することを期待している。	特にアーティスト (演者) として活動を希望する留学生の在留資格取得が難しく、日本国内での活動においては大きな障害である。 また、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、クラブ活動は行わないこととした為、学生間、または学生-教職員間のコミュニケーションが例年と比較すると不足していたことは否めない。

最終更新日付	2021年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

## 5-19 学生生活

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	経済的支援として学費、及び奨学金の担当者を配置し、様々な事情による対応を行う。	<p>学校独自の奨学金制度としてイーエスピー学園卒業生・在校生兄弟姉妹特別奨学生という制度を整備している。</p> <p>また、減免は被災生徒等授業料等減免補助金の申請可能な場合に対応する事としている。</p> <p>さらに現状で年間2期での分納が認められているが、やむを得ない場合(ローン等申込が不承認等)に更なる分割も条件付き特例で認める場合がある。</p> <p>条件付き特例で認める分割以外についてはホームページ、掲示板等で告知し、経済面での質問は専任の職員によって一括管理されている。</p>	<p>家庭の経済事情を考慮して様々な対応を行っているが、どうしても厳しいという状況もあり、やむを得ず退学という場合も不本意ながらある。</p> <p>今年度は修学支援新制度による給付型奨学金、及び学費減免制度の利用が出来なかったが、今年度機関要件確認大学等として認可され、来年度からは制度の利用が可能である為、家庭の経済状況による退学については救済される見込みである。</p>	業務分掌規程 学校ホームページ 学校パンフレット
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	保健計画に定める範囲、及び講義内での健康管理について指導する。	<p>保健計画を定め、日常の健康管理は講義内でも社会人としての健康管理として触れて、指導している。</p> <p>常設の保健室を整備し、利用可能なスペースは確保してある。</p> <p>また、学校医として外部医院の医師を選任し、委託している。</p>	課題は特になし。	学校保健・安全管理計画 定期健診実施要項

5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	提携している学生寮運営会社により委託されている管理人がおり、それによって支援体制は整備されていると認識している。	学生寮の設置自体はしてないが、学生寮の運営をしている複数の会社と提携し、整備されている状態としている。	課題は特になし。	東京生活（学生寮案内）
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	課外活動としてのクラブ活動の奨励、支援を行っており、必要と思われる費用も事前に予算申請することで、審査・承認後に予算化され、活動費として使用できる体制としている。 また、学生の学外ライブ活動等様々なサポートを行う。	クラブ活動には必ず教職員が顧問となり、活動状況の把握に努めている。また、発表会等も行っており、随時教職員が引率し、管理している。 また、学外での活動サポートとして、学外のライブハウスを定期的に借りてライブイベントを企画・開催し、その際に発生したチケット代は参加バンドへ100%還元している。	今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、クラブ活動については活動休止とした。 また、学外のライブハウスを借りたライブイベントも卒業前に一回だけ無観客で行ったが、原則学内で行い、オンライン配信としている等、課外活動に対する支援は殆ど行っていない。 来年度は徹底した感染対策を行った上で各活動を行う事を検討する。	学校パンフレット 学校ホームページ Brand New Way ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生生活を送るにあたり必要な支援体制は整備されていると認識している。また、経済面での支援はセンシティブな問題でもあるため、細心の注意が必要である。</p> <p>来年度からは修学支援新制度の利用が可能となったため、業務の繁雑化が見込まれるが、人員を増加して対応するよう、体制を整えている。</p>	<p>エンタテインメントの専門学校であるので、通常の学生サポートの他、主にエンタテインメント関係のサポートが手厚い傾向である。</p> <p>また、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、学生支援緊急給付金（学生に対する10万円または20万円の給付）があり、対象者への周知、及び申請者の対応を行った。</p>

最終更新日付	2021年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

## 5-20 保護者との連携

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	基本的に個別対応を行う体制としており、それによって細やかな要望等に対応する事を可能とする。	保護者会等は組織していないが、教育活動に関する情報は期末に行われる試験の個別成績発送の際に共有し、保護者と連携した指導を行う。 また、保護者の方が直接来校された際には学科責任者及びそれに準ずる者が対応している。 緊急時には学籍管理システムに登録されている情報から保護者の方へ個別に連絡する。	課題は特になし。	保護者宛て発送資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
全国から集まる学生たちの保護者の保護者会の開催は現実的ではなく、また参加できる保護者とできない保護者との格差が生まれてしまう懸念があるため、基本的には保護者会を組織する予定はない。 保護者との連携はあくまで個別の学生の諸問題に対して行われるべきであり、その環境整備は行われていると認識している。	特になし。

最終更新日付	2021年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

## 5-21 卒業生・社会人

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	学生との緊密な関係を築き、卒業後もそれを維持していく方針である。	同窓会等は組織していないが、デビューサポートセクション、キャリアサポートセクションを卒業後も活用できる。	卒業後もデビュー情報の提供を希望する人は、事前にデビューサポートセクションに登録することで、デビュー（オーディション）情報をメルマガ配信している。	学校ホームページ 学校パンフレット
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	取り組んでおらず、今後行う予定はない。	現状は行っていない。	授業時、及び空き教室はレンタルスタジオとして使用しており、卒業後のプログラムを組む余地は現状無い。	
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	社会人学生を受け入れることは現状想定しておらず、今後この方針に変更はない。	社会人経験者の入学は問題ないが、働きながら履修できる体制は取っていない。	時折、社会人学生としての問い合わせもあるが、当校ではそのような体制の整備はされておらず、対応可能な他校へとアナウンスしている。	学則

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>卒業生との関わりは今後も継続的に行われるべきであるが、過剰な干渉をすると他の卒業生との不公平も生じてしまうため、あくまで卒業生からアクセスがあった場合に対応するに留めている。</p> <p>当校は一定水準の汎用的な能力と専門性を持った学生の輩出を目的としているが、基本的に学外での活動を奨励しており、資格取得やキャリアアップは相談があった場合を除き、個人の裁量に委ねている。</p> <p>また教育課程編成上、学外生向けの講座を設ける枠が現状なく、現状では行う予定はない。</p>	<p>当校の方針として学生との緊密な関係を築き、維持すること、そして卒業後もデビューサポート、キャリアサポートセクションの利用が可能であることから、卒業後にも来校する卒業生が多く、そこから業界の最新情報やオーディション・就職情報が入ってくることもある。</p>

最終更新日付

2021年3月1日

記載責任者

野永 幸恵

## 基準 6 教育環境

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育上必要な設備は整備されており、法令上の基準は満たしている。</p> <p>また、前項でも記載したが、卒業生も学校の施設利用を可能としている。</p> <p>学外実習等は教育課程上の明確な位置づけを行ってはいないが、事前に担当講師、または学科教務に申し出ることによって、出席扱いとなるよう計らっている。</p> <p>防犯、防災等安全に関わる事案はマニュアル等規程を策定しており、学生の生命の安全を第一に考えている。</p>	<p>当校の施設・設備はエンタテインメント業界における一般的な機材からプロも驚く最新・高性能の設備まで揃えられており、非常に充実している。</p> <p>ただし、昨今の新型コロナウイルス感染症拡大への対応として、教室の収容定員を見直しており、教室不足が見込まれる。</p> <p>その為、新たに教室を増設する予定である。</p>

最終更新日付	2021年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

## 6-22 施設・設備等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	法令上での基準を満たした施設・設備を整備する。	各学科、各コースにおける必要な設備等は整備されており、法令上の基準は満たされている。 また、前項でも記載したが、卒業生にも施設利用を可能としている。	技術は日進月歩であり、設備も同様であるため、その対応に遅れることが無いよう計っていく。 また、新型コロナウイルス感染症拡大への対応として、ソーシャルディスタンスの確保が必須であり、現在教室の収容定員を見直している。 その結果、教室不足が見込まれるため、教室の増加を検討している。	学校ホームページ 学校パンフレット

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
施設・設備は最新・高性能な機材を整備し、学生が学びたいことに対応でき、また学ぶ意欲の向上につながるよう計っている。	エンタテインメント業界でも最新・高性能な機材を導入し、どの現場でも対応可能な能力を身に付けられる環境としている。 新型コロナウイルス感染症拡大への対応として、教室の増加を検討中。

最終更新日付	2021年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

## 6-23 学外実習、インターンシップ等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	学外実習そのものを単位化等、教育課程上では特に整備はしていないが、当校では学外活動を奨励していることから、事前に申請をすることで出席扱いとすることが可能である。	早期入社、及び学外実習等は、事前の申告、及び事後のレポート提出等にて出席扱いとしている。 また、海外研修プログラムも設定しており、参加期間中は出席扱いとなる。 学校行事の参加については演習として教育課程上編成している。	インターンシップを教育課程上に位置付けることは、実施が難しい学科もあり、統一的に教育課程編成に反映することはしていない。 個別に早期入社や、学外実習と認められるものについては、左記の通りに対応している。	学則

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
現状では学外実習等を奨励している関係上、事前の申請、及び事後のレポート提出等で出席扱いとして対応している。	授業の成果を発揮する学外での実地演習や、ハリウッドへの海外研修旅行、工場見学ツアーなどあり、エンタテインメント業界との緊密な関係によって実施されている。 しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって、殆どのイベントは中止となり、上記についても同様である。 来年度は状況から実施について検討する。

最終更新日付	2021年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

## 6-24 防災・安全管理

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	防災計画、消防計画、及び災害対応マニュアル等を整備し、有事の際に被害の最小化に努める。	各種計画、マニュアルは整備されている。 各校舎等も耐震化に対応済みであり、消防設備の保守点検を法令に基づき行っている。	防災計画、及び関連マニュアルの整備はされているが、教職員及び学生への周知徹底が不十分である。 来年度に G-Suite から教職員及び学生へ周知徹底を行う。	防災計画、消防計画 災害対応マニュアル
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	学校安全計画、及び関連マニュアルを整備し、有事の際に的確に対処できるよう整備する。	学校安全計画を保健計画と並行して策定（学校保健・安全管理マニュアル）しており、運用している。 また、防犯マニュアルを策定しており、教職員への周知徹底が必要である。	学校安全計画、及び関連マニュアルは整備してはいるが、教職員、及び学生への周知徹底が不十分である。 来年度に G-Suite から教職員及び学生へ周知徹底を行う。	学校保健・安全管理計画 学校危機管理マニュアル 防犯マニュアル

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校として必要な規程の整備はされてはいたが、教職員、及び学生への周知が不十分であった。 来年度に G-Suite から教職員及び学生への展開し、周知徹底を行う。	本学の施設は全て耐震化されており、有事の際には基本的に学内施設に留まり安全を確保する。

最終更新日付	2021年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

## 基準 7 学生の募集と受入れ

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生募集は SNS の活用や、ホームページからのアクセス等、電子媒体を主軸に置きながら、地方ガイダンス等対面での説明による来校者、入学者も依然として多く、どちらかに偏重するでもなく、ちょうど良い割合で行われていると考える。</p> <p>入学選考基準は明確化されており、全データは毎年度蓄積を行っている。</p> <p>学納金データも算定内容、決定過程を明確にしており、学則変更の際に明示済みである。</p>	<p>アドミッションポリシー:「エンタテインメント業界で活躍する夢の実現をめざし、目的意識と熱意を持って学ぶ意欲のある者」としている。</p>

最終更新日付	2021 年 3 月 1 日	記載責任者	野永 幸恵
--------	----------------	-------	-------

## 7-25 学生募集活動は、適正に行われているか

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	進路説明会において情報拡散に努めるべきと考える。	全国の進路説明会に参加し、情報提供を行っている。 また、出張メンテナンス・リペア等も行い、そこでの情報拡散も見込まれる。	コロナ禍において、可能な限り各ガイダンスに参加しているが、中止されることが多く、例年と比較して情報拡散が不十分であった。	募集要項、学校ホームページ、学校パンフレット
7-25-2 学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	当校に関わる各情報はホームページ上で公開されており、入学対象者へ募集状況のお知らせ等を行うことで応募可能であることを周知する。	当校においては4月入学のみであり、それに向けた願書受付としてAO入試、推薦入試、一般入試を実施している。 また、学生募集活動における情報管理も法人全体で導入しているシステムによって一括管理されている。 また、オープンキャンパスは毎月行われており、その中で遠方から来校が難しい志願者に対する対応も行っている。	どの時期に行うことによって学生が来校し易く、効果的であるか、随時検討していく。 また、1都3県以外の学生へ交通費のサポートも行っており、来校する学生の来校促進を図っている。 資料請求者向けにLINE公式アカウントを利用した情報提供も行っている。	募集要項、学校ホームページ、学校パンフレット

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生募集において、メインは高校生であり、現在の高校生のメインツールであるスマートフォンに対応したSNS、ホームページの充実、分かり易さが重要である。 また、高校2年生の終盤で既に進路を固めている高校生が多いので、夏のオープンキャンパスが非常に重要なファクターであると分析している。	進学希望者は学校の雰囲気や設備、授業内容などを実際に体験した上で進路決定を行う事を希望しているため、コロナ禍においても感染対策を徹底し、感染リスクがない状態で迎えらるよう、図っていく。

最終更新日付

2021年3月1日

記載責任者

野永 幸恵

## 7-26 入学選考

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	入学選考基準は学則によって規定し、公平性を確保した運用をすべきと考える。	入学選考基準、方法は学則に明記されている。 合否判定体制は適宜学科責任者、教務部長間で行われる。	課題は特になし。	学則 募集要項 学校ホームページ 学校パンフレット
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	入学者に対するアンケートを実施し、情報収集と今後の傾向と対策を検討する。	合格率、辞退率のデータは毎年蓄積し、管理されている。 また、入学者数のデータは使用教室の割り振りに活用している。 また、今後行うアンケートによって入学希望者のニーズ把握を行う予定。	入学者に対するアンケートを実施しているが、専門機関への分析の依頼を検討中	アンケートデータ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>AO入試、推薦入学の受け入れは都の通知に従い募集定員の70%以内としており、AO、推薦それぞれの想定定数まで達した場合、AO入試はエントリーの段階で受付を締め切っており、推薦も出願数が定数まで達した場合、受付を締め切っている。</p> <p>募集定員も学則での届け出の通り、法令に則って設定している。</p>	<p>入学選考はAO、推薦、一般の3方式で行われるが、全てにおいて「やる気」が重要であり、また、「やる気」がなければ出願もされないため、身体的に問題がなく、入学要件を満たしていれば基本的には合格としている。</p>

最終更新日付

2021年3月1日

記載責任者

野永 幸恵

## 7-27 学納金

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	不必要に高額な学費とならないよう、経費内容から算定して設定される。	学納金の算定内容、決定過程は明確にし、学則変更、及び学納金変更申請時に提出している。 学校パンフレット、募集要項、ホームページ等に学納金等徴収する金額は明記している。 また、学納金の水準は適宜把握に努めている。	課題は特になし。	学則 学納金算定資料
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	文部科学省通知の趣旨に基づいて適宜対処する。	入学辞退者に対して、年度開始前までにその意思を示した場合には、入学金を除く学費を返金する旨を募集要項、及び入学金等納入のご案内にて周知している。	課題は特になし。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学納金については非常にセンシティブな問題であるため、特に注意を払って算定している。 また、支払う学納金に相応しい教育課程となるよう、継続的に検討を行っている。	全学科共通で1年次には入学金 20 万円、授業料 60 万円、実習費 30 万円、施設費 40 万円、合計 150 万円。 2.3 年次には上記から入学金を除いた 130 万円が年間の学納金であり、当校の教材費、施設利用費、研修費等は全て学納金に含まれている。 (ただし、希望者のみ参加する研修旅行は別途費用が必要となる)

最終更新日付	2021 年 3 月 1 日	記載責任者	野永 幸恵
--------	----------------	-------	-------

## 基準 8 財務

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>中長期的な考えを基に社会環境の変化、音楽環境の変化に対応するよう、教育環境を整えていくことが、安定した入学者数につながり財務の安定性も確保できると認識している。</p> <p>現在、財務状況は学校法人全体でとらえると概ね健全な状況にある。福岡校開校（平成 30 年 4 月）にあたり借入金が増加したが、生徒数も確保でき計画通り 6 年間で返済予定である。</p> <p>少子化が進み激しい環境と共に、コロナ禍において教育のスタイルも変化しつつあることも考慮し、設備投資を計画して、それを基に単年度予算を作成し実施していくことで変化に合わせた教育環境を整えていきたい。</p> <p>財務情報の公開については、学校法人会計基準に準拠した形式によりホームページ等に公開を行っていく。</p>	<p>音楽環境の変化は今までになく早いスピードで変化している。計画的に設備の入替を行い、新しい音楽シーンに対応できる人材を育てていきたい。</p> <p>本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、年度初めより学校閉鎖を行なうこととなり、通年とは大幅に違う学校運営となった。</p>

最終更新日付	2021 年 3 月 1 日	記載責任者	野永 幸恵
--------	----------------	-------	-------

## 8-28 財務基盤

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	18歳人口の減少といった厳しい環境が予想されるが、中長期計画に基づき設備投資を行い、教育環境の充実と生徒数確保により財務基盤を安定に保っていく。	校舎、教室、設備など老朽化が進んでいる箇所を優先し、今後の教育活動に必要となる設備に改修又は、建替えを行っていく。	設備投資の規模により、中長期的な視点で自己資金、長期借入、リースなど資金の検討を行っていく。	過去3年間の ・資金収支計算書 ・事業活動収支計算書 ・貸借対照表 ・財産目録
8-28-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	財務分析を継続的に行うことにより、その推移を分析し財務基盤の安定にいかす。	主要な財務分析となる事業活動収支計算書関連比率、貸借対照表関連比率の分析を行っていく。	全国専門学校等の平均値、適正数値を調べる。	財務分析表 キャッシュフロー計算書 学校基本調査票

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
中長期的な考えを基に社会環境の変化、音楽環境の変化に対応するように、校舎、設備などへの投資を行い、教育環境を整えていくと共に財務基盤の安定を図っていく。	一部の校舎については、大規模修繕に備え積立金を行っている。

最終更新日付	2021年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

## 8-29 予算・収支計画

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	教育目標を、中期事業計画として策定し、その単年度教育目標として単年度事業計画を策定していく。	予算編成については教育目標を土台に、各学科からの予算案を取りまとめ、各会の承認を得て決定している。	単年度予算作成に重点がおかれ、中期計画は形式的になっている。	当年度・前年度の予算書
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	事業計画により予算を策定し、予算に基づき適正に執行していく。	予算作成を詳細に行うことにより、その執行も計画通り収まるようになってきた。 また、超過が見込まれる場合、予算計上されている予備費から、経理責任者を經由して理事長の承認を受けることで充当することが出来る。	課題は特になし。	経理規程

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本年度はコロナウイルス感染症拡大防止のため学内イベント、学外イベントの中止、広報活動の制限などを行ったことにより予算計画を行なえないことが多く見られた。	年度予算については、緊急事態宣言等もあり校舎修繕などを延期し、コロナ対策の設備、又消毒など対策用備品調達などを優先的に行った。 コロナ過の為、学内イベント及び学外イベントの多くを中止にした。

最終更新日付

2021年3月1日

記載責任者

野永 幸恵

## 8-30 監査

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	寄附行為に基づき、監事による会計監査は適切に行っている。	私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査が実施されている。 監査法人による外部監査は必要と認められる場合に実施する事とし、2020年度は行われていない。	監事による指摘事項はないが、指導助言を受けた場合はそれにしたがって、適正に行っている。	監事による監査報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
年度ごとに監事による会計監査を実施しており、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実の指摘はない。	適正な計算書類の作成に努め、監事による監査を実地していく。

最終更新日付	2021年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

## 8-31 財務情報の公開

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	私立学校法第47条に基づき、適切に運用していく。 また学校法人の財務情報は公表されることが望ましい為、財務情報等公表規程を策定し、適宜実施していく。	私立学校法第47条に基づき、財産目録等を作成し、財務書情報公表規程の通りに本校ホームページにて公表している。	課題は特になし。	財務情報等公表規程 本校ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
財務情報の閲覧規程を廃止し、代わって財務情報公表規程を定め、私立学校法に基づき適切に運用していく。 財務情報公開は本校ホームページで公開している。	特になし。

最終更新日付	2021年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

## 基準 9 法令等の遵守

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校として各種法令、施行規則、設置基準等様々な基準を満たす必要があり、それぞれの基準を全て網羅し、常時にチェックする必要がある。</p> <p>各学校のみならず、学校法人全体としてこれらに取り組み、抜けの無いよう体制の整備を継続していく。</p> <p>特に個人情報保護については現在の情報化社会における重要性と維持の難度が年々上昇しており、対応するべく規程も適宜修正しなければならない。</p>	<p>今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、国、省庁、都、区から様々な通達があったが、それらへの対応を適宜行った。</p> <p>また、各規程でも新型コロナウイルス感染症への対策を追加する必要がある規程については、適宜更新した。</p>

最終更新日付	2021年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

## 9-32 関係法令、設置基準等の遵守

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	法令、設置基準、その他関連施行規則等を遵守し、適正な運営が行われなければならない。	学則改正は適宜所轄庁へ届出を行っており、各種規程、及びマニュアル等を法令に即した形で整備し、適切に運用している。	特になし。	学則改正の届出（最新版） 学則 ハラスメント防止規定

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
法令、設置基準等を遵守し、法令に関連する各種規程は整備され、適切に運用されている。	学校関係者評価委員会は法令上では努力義務ではあるが、修学支援新制度（給付型奨学金および学費の減免）の機関要件を満たすために、2019 度より体制を整備し、実施している。 昨年 9 月に確認大学等として認可され、2021 年 4 月から上記制度を利用可能となっている。

最終更新日付	2021 年 3 月 1 日	記載責任者	野永 幸恵
--------	----------------	-------	-------

## 9-33 個人情報保護

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	個人情報は各部署で扱う関係上、厳重に管理され対策には万全を期するべきである。	個人情報保護規程を整備し、適切に運用している。 また、管理システムは通常のインターネットからは隔離したネットワークを構築し、外部からのアクセス等に備えた危機管理を行っている。	確立したシステムにおいて運用されているため、課題は特になし。	個人情報保護規定 情報管理システム運用規定

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
個人情報保護は学校として万全を期するべきであり、規程に従い各部署運用されている。	特になし。

最終更新日付	2021年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

## 9-34 学校評価

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	各科、各部門で行い、次年度以降の目標の指針とする。	各科、各部門担当で自己評価を行い、総務部長、評議員会、理事会で精査している。	課題は特になし。	学則 自己評価報告書（本資料）
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	行った自己評価について、ホームページ等で広く公表する。	評価結果については財務帳票と併せてホームページで公表している。	課題は特になし。	寄附行為 学則 本校ホームページ
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	学校関係者評価を行うよう、委員会、規程等整備する。	学校関係者評価委員会を2019年度設置し、以降毎年実施していく。	課題は特になし。	学校関係者評価委員会規程
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	いただいたご意見と、それに対する本校の対応についてホームページ公表することで、学校運営に対する透明性を高めるよう図っていく。	本校ホームページで公表している。	課題は特になし。	本校ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校評価の内、自己評価、学校関係者評価を実施し、毎年ホームページで公表している。	特になし。

最終更新日付	2021年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

## 9-35 教育情報の公開

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	エンタテインメント業界で活躍したいという人に、広く当校のことを知っていただく機会を設けるべきである。	ホームページ、パンフレット等によって公開されている。	課題は特になし。	学校ホームページ 学校パンフレット

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校として教育情報を広く公表することは必要ではあるが、閲覧者が本当に求める情報なのか検討する必要がある。 また、伝えたい情報と、知りたい情報を整理し、分かり易い内容となるよう、努めなければならない。	エンタテインメント業界誌への情報掲載も行っている。

最終更新日付	2021年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

## 基準 10 社会貢献・地域貢献

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>地域貢献に関しては当校の特色を活かし、地域のお祭り等のイベントにおける照明・音響等の協力、また空き時間を利用した生演奏等、各種協力している。</p> <p>また、近隣学校への楽器メンテナンスを授業の一環として行っている。</p> <p>国際交流に関して、ハリウッドへの研修旅行や、国際交流サークルでの活動等、学生の視野を広げるべく各プログラムやクラブ活動を奨励している。</p> <p>また、今後、様々なクラブ活動を通じて日本人学生と留学生の交流を活発にするため、中・長期計画でも予算化してクラブ活動の奨励を行う予定である。</p> <p>学生ボランティアは特に奨励等していないが、学園祭の模擬店の売上金を福祉事業へ寄付している。</p>	<p>楽器メンテナンスを行う活動は当校の特色を活かしたものであり、この活動を通じてリペアに興味を持ってくれる高校生もいる。</p> <p>しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって、左記イベントの殆どが実施されておらず、学生安全性を確保することから、クラブ活動も休止としている。</p> <p>また、学園祭も同様であり、今年度については殆ど社会貢献・地域貢献を行っていない状況である。</p>

最終更新日付	2021年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

## 10-36 社会貢献・地域貢献

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	地域貢献として近隣町内会等が主催するイベントへ協力等は金銭が発生しない、及び学校運営に影響がない範囲において積極的に地域貢献していくべきである。	業界における即戦力となるよう各種資格取得を奨励しており、資格取得によって地域のイベント等にも積極的に協力している。 また、時折全国の学校へ訪問楽器メンテナンスを行っており、簡単なお手入れの講習や本格的なリペアを行っている。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、今年度は左記について全て実施されていない。 来年度は状況から適宜実施するか検討する。	学校ホームページ、ホームページ掲載SNS
10-36-2 国際交流に取り組んでいるか	提携姉妹校との連携プログラム等、国際化に対応するべく交流を深めていくべきである。	ハリウッドにある姉妹校との海外研修プログラムを整備している。 また、留学生同士の交流、日本人学生と留学生との交流の一助となるべく、国際交流サークル等、各種クラブ活動も奨励している。	上記と同じであり、更に来年度の実施は現段階において行わない方針である。 今後の状況の変化によっては再来年度からの再開を検討する。	学校ホームページ、学校パンフレット

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>在学学生も地域貢献をしつつ、現場を体験できるため、良いサイクルが出来ていると考える。</p> <p>また、ハリウッドにある提携姉妹校とのプログラムの充実を図り、当校だからこそ出来る本場の空気に触れる機会を、今後も継続して整備していく。</p>	<p>左記の通り、提携姉妹校とのプログラムがあり、エンタテインメントの本場であるハリウッドへの研修旅行や留学プログラムがある。</p> <p>しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって全てのイベントが実施できない状況であり、来年度は状況から適宜実施するか検討する。また、ハリウッドへの研修旅行プログラムは再来年度に再開するか検討。</p>

最終更新日付

2021年3月1日

記載責任者

野永 幸恵

## 10-37 ボランティア活動

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	特にボランティア活動の奨励はせず、学生個人の裁量に任せべきと考えている。	学生個人のボランティア活動は特に奨励はしていないが、学校として地域イベントに協力している。	課題は特になし。	学校ホームページ掲載 SNS

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
ボランティアはあくまで本人の自主性によるものであると認識しており、特に学校として奨励することはしていない。 しかし、授業の一環として近隣の学校の楽器メンテナンスを行っており、前述の地域貢献を行っている。	一般的なボランティア活動ではないが、修得したスキルを活かした地域、社会貢献を行っている。 今年度に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で実施していないが、来年度は状況から適宜実施するか検討する。

最終更新日付	2021年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------